

第6回フューチャーセッション

大分県 IT 企業の挑戦！「2021年宇宙ビジネスの旅」

〈 開催概要 〉

- ・ 日 時 令和3年9月30日(木) 14:00~15:30
- ・ 開催方法 オンライン (ZOOM 配信)
- ・ 対 象 子供から大人までどなたでも参加可能
- ・ 参加費 無料
- ・ 参加者 31名
- ・ 主催 一般社団法人おおいたスペースフューチャーセンター (OSFC)

〈 タイムスケジュール 〉

- 14:00~14:10 オープニングトーク 高山 (OSFC 理事)
- 14:10~15:00 話題提供
OECの挑戦！「2021年宇宙ビジネスの旅」
OECの保有技術と力を入れている分野や衛星データ活用や宇宙ビジネスへの取組み等について
(OEC DX 推進事業部 上席執行役員 DX 推進事業部長 野崎 浩司氏)
(OEC DX ソリューション部 DX デザイングループ長 坂本 将幸氏)
- 15:00~15:20 ディスカッション・質疑応答
(野崎氏、坂本氏、ファシリテーター高山)
- 15:20~15:30 クロージングトーク 高山 (OSFC 理事)

〈 内容 〉

今回のフューチャーセッションでは、大分県のデジタル企業である株式会社オーイーシーの保有する技術の紹介や DX/AI/ドローンなど力を入れている分野やこれから取り組む宇宙ビジネスなどについて話題提供していただきました。



話題提供

OEC の挑戦！「2021 年宇宙ビジネスの旅」

OEC の保有技術と力を入れている分野や衛星データ活用や宇宙ビジネスへの取組みなどについて

野崎 浩司（のざき ひろし）氏

<プロフィール>

株式会社 オーイーシー（OEC）

DX 推進事業部 上席執行役員 DX 推進事業部長

大分県大分市出身。高校卒業までは大分、大学生活は和歌山県。

DX 推進事業部門で、AI・IoT、ロボット・ドローンの先端技術や SDGs や

DX のファシリテーション手法を用いて、地域やお客様の課題解決や

子どもから大人までの人財育成に取り組んでいる。



坂本 将幸（さかもと まさゆき）氏

<プロフィール>

株式会社 オーイーシー（OEC）

DX ソリューション部 DX デザイングループ長

大分県大分市出身。医療・ヘルスケア系のシステム開発・提案業務を経て現部署。

デザイン思考を用いたアイデアソンやハッカソンの企画・運営など、県内外の様々な企業様と

共創による DX を推進中。

宇宙分野は、数年前の宇宙ビジネス関連の講演をきっかけに日々勉強中。



会社事業紹介

1. ゴミ収集管理システム

宇宙関連の事業では、GPS 技術を利用して

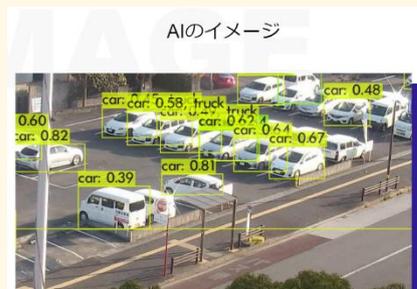
ごみ収集状況、収集経路などを把握するシステム開発に取り組みました。

2. 利用状況管理システム「aki-doco※1」

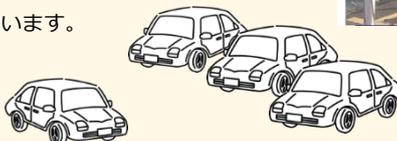
AI 車両検出技術を用いて、カメラ画像から駐車場の利用状況を検知。

管理者や利用者が PC やスマートフォンで空き状況の確認ができるシステムです。

将来は、衛星データとの組み合わせを視野に入れています。



（出所：OEC HP）



3. ヘルスチェッカー

AIを活用してカメラ映像で健康状態を数値化し、事業者向けのメンタルヘルスチェッククラウドサービスを提供しています。カメラ画像解析やAI技術を活用して、人の感情を可視化して、メンタルヘルスのコンディションを把握するシステムです。大分県の「令和元年度、おおいだ IOT プロジェクト推進事業」に採択されました。



4. ドローン飛行場所管理ツール「DUCT※2」

ドローン飛行可能な場所を、観光や産業に役立てる目的で、自治体や観光協会、各地ドローン協議会向けに提供を行い、飛行場所を登録することで地元資源の活用を促進する飛行場所管理ツールです。飛行場所を見える化することで、防災対策や、安全な利用の促進など様々な活用が見込まれます。

OECは、ドローンサッカーの普及加速でドローン市場の活性化を目指しています。

みなさんは、「ドローンサッカー※3」を知っていますか？

ドローンサッカー®とは、韓国発祥の競技で、球状のプラスチックフレームに覆われた専用ドローンボールを使用し、5対5で戦う最新戦略型チームスポーツです。ドローンボールを専用ケージ内のフィールド両サイドの空中に設置したリング状のゴールに入れることで、その得点を競う競技です。



5. イノベーションオフィス DX Lab※4

AI・IoT分野の人材やDX人材の活動拠点。

大分におけるイノベーションの発信源として新しい価値を創造していく場を提供しています。

宇宙ビジネスの挑戦

なぜ、IT企業が宇宙ビジネス？

→ 衛星データ × 地上データ

★衛星データの活用として北九州市立大学との共同開発

～土砂災害をリアルタイムで検出するプログラムの開発

並びにシステム化について実現可能性を検証～

- 広範囲における早期発見&状況把握
- SAR衛星観測データの活用（天候に強い）
- リアルタイム処理（高スペックマシンは不要）
- 土砂災害発生予防の処理



★大分県民の森おでかけガイドマップ※5

OECはGPSの機能を用いて施設へのルートや散策コースを開発。

開発したサイトはグーグルマップと連携。施設や散策コース、サイクリング道などを確認でき、例えば、トキハわさだタウン（大分市玉沢）や豊後大野市大野町からのアクセスが分かる。



※1～6は最終ページに関連情報リンクの掲載をしています。

大分県民の森おでかけガイドマップ

一般的な電子地図サイトやナビシステムでは表示されない県民の森内の施設やコース、安全な交通ルート情報を地図で確認することができます。さらに、ご自身のスマートフォン等端末のGPS機能を使い、現在位置を確認することで位置関係の俯瞰的な把握ができます。



© OEC Co., Ltd. 2021

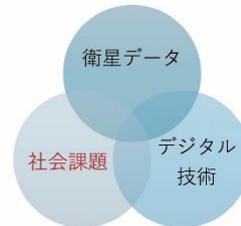
今後の展開

OEC では、自社ソリューションの転用として渋滞予測や農業・林業への地上データと衛星データの組み合わせでソリューションと展開していくとのことです。

OEC が考える宇宙ビジネス

- 1 県内事例の創出
- 2 社会実装へのこだわり
- 3 地域活性化
- 4 教育・人材育成へのインテグレーション

宇宙ビジネスに必要なモノ・コト



ディスカッション・質疑応答

野崎氏×坂本氏×高山

ディスカッションでは、はじめに株式会社オーイーシーの事業について参加者の皆さんからの質問をいただきました。その一部を紹介します！

質問 1 「宇宙×芸術」の分野で何か取り組まれていることはありますか？

坂本氏

先日の東京オリンピックでは、ドローンをもちいたダンスなど芸術性もあり面白かったですね。遊び心や若い世代の発想力を取り入れ、宇宙に関わってきたいです！

野崎氏

大分県でもオリンピックほどは大規模ではないですが、ドローンを100機ほど利用してドローンショーをしたいと考えています！

高山

ドローンショー面白いですね！先ほど、話題提供にもありましたように、ドローンを用いたサッカーも面白いですもんね。

宇宙×○○、色んな分野が動き始めていますね。

質問 2 現在、文系の大学に通っているのですがそのような人でも宇宙関連の企業に就職することや宇宙関連の仕事に関わることは可能なのでしょうか？

高山

文系理系だとか関係ないです！ただ単に宇宙の技術分野を考えるのではなく、宇宙関連の情報や技術をどう活用していくのか？と



このような視点が大事ですね！どんな方にも関わっていただくことができるのが今の宇宙ビジネスです。

野崎氏

私たちも、OEC は理系の方が多くは多いですか？とよく質問を頂きますが、OEC は意外と文系が多いのですよ！文系理系、また男女関係なく、国際色も豊かでお互いを認め合う環境があるからこそ、そこにイノベーションが生まれるんです！興味があったらトライする、そんな気持ちを大切にしてほしいですね！

坂本氏

宇宙関係の企業という点で、私も以前は宇宙ビジネス=ロケットというイメージしかありませんでした。ですが、5年ほど前に高山さんと出会って、衛星データを活用することも宇宙ビジネスの一つにということを知り、まさか私自身が宇宙ビジネスにかかわるとも思っていませんでした。

高山

宇宙というワードを難しく考えすぎず、陸上、海上というように宇宙という領域としてとらえてみるといいですね！

関連情報リンク

※1 aki-doco (駐車場利用状況管理システム) AI 技術にて屋外駐車場の空満状況をリアルタイムで把握し、利用者や管理者にも喜ばれるサービスを提供。	※2 DUCT (自治体向けドローン飛行場所管理ツール) 地方創生をドローンで飛行可能な場所を告知して、繋ぐツールを提供。	※3 ドローンサッカー ドローンサッカーは、お子様からご高齢者まで、年齢や性別を問わずに同じフィールドで楽しみを共有できるバリアフリーな競技。
※4 OEC DX Lab AI・IoT 分野の人材や DX 人材の活動拠点として、また、斬新で遊び心のある働きやすいオフィスとして、新しい発想や発見がしやすい環境を目指す場を提供。 ●JR 線「大分駅」 徒歩約 20 分	※5 大分県県民の森おでかけガイドマップ ・県民の森のガイドマップサイト完成 施設へのルートや散策コースを精密にガイド。 → 掲載記事 (大分合同新聞, 2020)	・ 株式会社オーイーシー HP ・ 一般社団法人おおいたフューチャーセンター ・ 株式会社 minsora

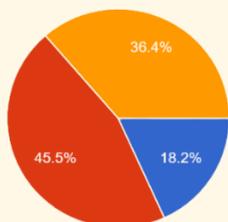
イベントハイライト

【参加者の声】

参加者 : 31 名

フューチャーセッションに参加した理由

- 講義内容に興味があった
- 幅広い情報収集のため
- 事業開発の参考にするため



その他、感想

・専門的なことも多く、難しく感じましたが、とても興味深い内容でした！

・実際に対面で参加したかったです！

質問

・リアルタイム視聴で質問などができないだろうか？

→ぜひ、気軽に ZOOM のチャットにて、

ご質問ください！

次回イベント

第 7 回 フューチャーセンターセッション

11 月中旬開催予定！

※10 月末の開催を予定しておりましたが都合により 11 月中旬に開催となります。

< お問い合わせ >

スペースベース Q 事務局

TEL : 097-589-8622

E-MAIL : info@osfc.or.jp

